

広報 ごじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課 電話(018876)代2100番
印刷所 潮東印刷所 電話(018876)2430番 (一部五円)
郵便番号 018-17 毎月1日・15日発行

人口と世帯

世帯数	3,910	世帯
人口	17,959	人
内訳	{	
	男	8,674人
	女	9,285人

住民登録調 (47年6月末現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

老人に 未来を

～ 社会福祉大会にちなんで ～

人は生まれながらにして老人になることを約束されている。にもかかわらず、老人福祉対策は長い歴史の中で実に粗末にされてきている。残虐無比なものには「うば捨山」がある。役に立たない老人を山に捨てる悲しくも恐ろしい人間の性(さが)の物語であるしかし今は違う。歴史の流れを一生懸命に支えてきた老人に敬意を払い、老後を幸せに暮らして頂くとする風潮が世界中に満ちている。社会的に弱い者は家庭で面倒をみるという日本国の哲学も、終戦を契機として変身を告げた。

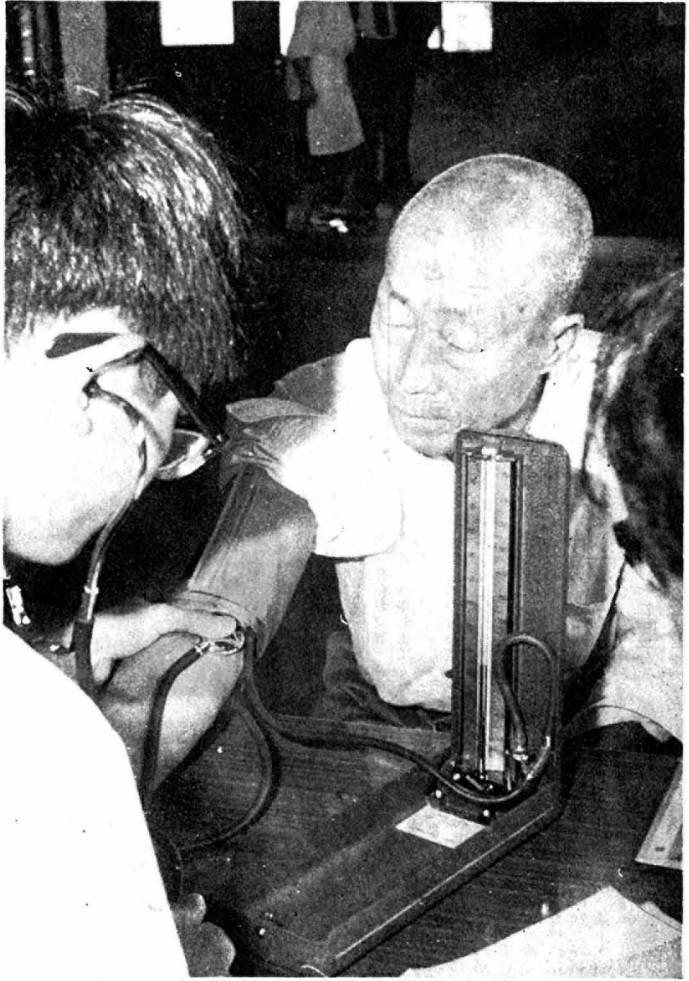
昭和38年老人福祉制度の確立をみてから現在まで法的な根拠、それにとりもなる各種機関等、多角的な老人対策はすすんでいるが、いまだ内容は浅く生活保障までおよんでいないのは残念なことだ。

本町では60才以上の老人が総人口の11.1%、2,000人余にのぼり、少産少死による人口の老齢化が急速にすすんでいることを示している。

老人対策の柱は、生活保障と、孤独感をいやすことそれに医療問題である。これに対する本町の姿勢はどうなのか。わたきり老人を看護する家庭奉仕員が2名おり、12名の老人を世話をしておるのをはじめ、一人暮らしの老人を常に面倒みるための介護人が5人、一人暮らしの孤独感をいやすとする老人福祉電話5本、それに70才以上の医療費全額無料等の配慮をしている。

一方年金関係では、65才以上老令年金は年額6万円となり、70才以上の老令福祉年金は現行の27,600円から10月改訂で39,600円の年額となる。町では特に福祉関係の施策を力点として推進しているが、今後も財政事情の許される範囲で内容の充実を急ぐとしている。

老後の生活を安定したものにするためには、健康と能力の恵まれた人には、職場の門戸を大きく開いて仕事場を与えるべきである。長年蓄積された生活の知恵は若者におとらない力を発揮するであろうし、孤独感を追い払い、健康を保つ最良の道ではないだろうか。人口構成の高令化が避けられない現在、新しい労働市場の開発課題でもある。来る16日におこなわれる福祉大会が年に一度の形式行事ではなく、老人にあかるい未来を与える大会になってほしい。



血圧測定で健康度を知る

広報サロンの

大川豊協農産加工コンビナートの研修視察を回顧して

五城目町農業委員会
会長 武田新市



六月十九日
日香川県大川郡柴川町

大川豊協同組合経営の農産加工コンビナートを研修視察したものでその一端を述べてみたい。

四十年四月に七農協が合併し組合員三八〇〇名の大型農協である。第二次農業構造改善事業、経営基盤の拡大と農産物の付加収入の農民還元を図るため「農産加工コンビナート」を敷設六、六〇〇平方メートルに総事業費十二億円を投じ、本年度中に完成予定で現在八割操業を開始しているが完成時には養豚(一万五千頭)養鶏(四百五十万羽)和牛野菜(百ヘクタール)の営農団地を作り三次加工してハム、ソーセイジで冷凍食品キャッツなどを製品として系統組織を通じて全国へ販売するシステムである。

このおろいは農民の手で生産と流通加工を直結して中間利をなくし利益を直接農家に還元し、又従業員三五〇名の雇用と、生産物は豊協と農家委託契約で庭先渡し価格は過去三年平均値プラス一〇パーセントで華先に供給するので、農家では物価の変動や契約先の心配がないと言っており大変好評であった。

今後本町も本年度農業振興地域整備法にもとづく農用地指定や、第二次農業構造改善事業も計画し対象地域に対して啓蒙指導など思われるが、農業委員会もこれらを参考に行政へ反映し、農家ともども意欲的にこれにとり組んで時勢に遅れないように対処するつもりである。

用途地域の設定について

「住みよい、暮らしよい、魅力あふ街づくりのために」
新しい都市計画法に基づく用途地域を定めよう。

そこで、このようなことの起こらないように建物建てる場合お互いに守るべき最低限のルールを決めたものが用途地域の都市計画です。

この中には、工場や風俗営業施設など、良好な住環境をそこなう建物は建てられませんが、住生活の利便が確保できるように日常生活に必要な一定の店舗の併用住宅、公衆浴場、小中学校、小規模な郵便局などは建てられます。

建設のときは、低層住宅地としての良好な環境を保護するための地域です。
この中で、工場や風俗営業施設など、良好な住環境をそこなう建物は建てられませんが、住生活の利便が確保できるように日常生活に必要な一定の店舗の併用住宅、公衆浴場、小中学校、小規模な郵便局などは建てられます。

この三時間程の出水は、意外に大きな被害をもたらし、人々はその無残な爪跡におどろいた。橋の被害だけでも次のようになる。

御蔵町、仲町、米沢町有志二名の千四百円、県補助三千六百円、町基本財産から千五百円が、この財源となった。

一、用途地域には

どんなものがあるか

第一種住居専用地域、第二種住居専用地域、住居地域、近隣商業地域、準工業地域、工業地域、工業専用地域の八種類があって、それぞれ地域にふさわしいように建物の用途や形態の制限を定めなければならぬことになっております。

二、各種用途地域の制限
第一種住居専用地域
この地域には、低層住宅地として



大川下水路整備工事
延長145m=工事費137万円=竣工7月末

- 久保橋 40m
- 坊村橋 51m中30m
- 杉沢橋 42m
- 中屋敷橋 26m中18m
- 門前橋、広徳橋、北ノ又橋、高瀬橋、蛇喰橋、落合橋 以上11橋
- 馬城橋55m中40m

こうしたダイワイン五城目分、馬川分合計八十戸一丸となった運動によって架橋場所は元通りになった。しかし、渡ってすぐ左折して狭い道路になるという今までの道路をやめて新しい取付道路にする案を県は捨てた。橋から念仏、車坂まで直線を通す案である。この道路はダイワインの裏を通る。これでは困るといのが住民の声であった。町における最初の都市計画である。

「住みよい、暮らしよい、魅力あふ街づくりのために」
新しい都市計画法に基づく用途地域を定めよう。

そこで、このようなことの起こらないように建物建てる場合お互いに守るべき最低限のルールを決めたものが用途地域の都市計画です。

この中で、工場や風俗営業施設など、良好な住環境をそこなう建物は建てられませんが、住生活の利便が確保できるように日常生活に必要な一定の店舗の併用住宅、公衆浴場、小中学校、小規模な郵便局などは建てられます。

建設のときは、低層住宅地としての良好な環境を保護するための地域です。
この中で、工場や風俗営業施設など、良好な住環境をそこなう建物は建てられませんが、住生活の利便が確保できるように日常生活に必要な一定の店舗の併用住宅、公衆浴場、小中学校、小規模な郵便局などは建てられます。

この三時間程の出水は、意外に大きな被害をもたらし、人々はその無残な爪跡におどろいた。橋の被害だけでも次のようになる。

御蔵町、仲町、米沢町有志二名の千四百円、県補助三千六百円、町基本財産から千五百円が、この財源となった。

八月十五日
新成人のつどい(成人式)

五城目第一中学校で開く

ことし新しく成人になる方々の門出を祝う「新成人のつどい」(成人式)は八月十五日に開かれます。

成人式のご案内は全戸に配布いたします。

たし町外へ転出されている方や五城目町に住居登録をしていない方で、本町のつどい出席を希望される方は、早めに五城目町公民館の担い手となることが期待されます。

館(社会教育課)(デンワ四一〇番)へ申し出てください。

▼新成人の対象者:昭和二十七年四月二日から昭和二十八年四月一日までに生まれた方

▼期日:八月十五日(火)

▼時間:受付午前八時~午前八時三十分

▼つどい:午前十時~午前十二時 四十五分

▼会場:五城目第一中学校

昭和十二年(一九三七)八月三十日午後、かなりの雨量が町とそ付付近に降った。暗くなった空に稲妻が走り、雷鳴がとどろいた。その夜九時頃、馬場目川が急に増水した。今でいう「集中豪雨」で特に奥地で大雨が降ったためである。あつという間の出来事で大水が下流を襲った頃、雨は小降りになっていた。

ある都市計画

小野 一一

馬場目川の堤防決壊

荒れ狂った豪雨

五日から全県的に集中豪雨をもたらし、た梅雨前線は九日朝まで一六四・二ミリの越す雨量となり馬場目川護岸十六カ所五カ所の欠陥をはじめ、道路や沿線田畑に近年にない大きな被害をうけ、被害額も二億数千万円になるものうである。

町では八日未明から、消防員や役場職員が緊急集合して、災害対策とその他実態調査をおこなった。主な被害状況は次のとおりであるが、さらには見える見込みである。

- 町関係 高千川、小倉川、内川川
- 橋梁
 - 町関係 山下内、富田橋、流失
 - 久保橋(一部流失)
- 地スベリ
 - 県関係 小野台、平ノ下間
 - 町関係 岩城町
- 町道 高千二沢火災
- 農地の被害状況(田畑冠水)
 - 五城目地区 四四、〇ha
 - 馬場目地区 一八、〇ha
 - 富津内地区 八三、〇ha
 - 内川地区 二六、〇ha
 - 大川地区 七九、五ha
 - 面溝地区 一五、〇ha
 - 計 三五五ha

その他農業用施設関係では、揚水機、溜池、水路、農道、頭首工橋梁など三〇カ所におよび、被害額も四百五十万円相当におよぶものとみられている。

昭和四十七年度 保母試験者講習会開催

将来保母の資格を得ようとする女子に対し、保母として必要な基礎知識及び修得させるとともに保母の資格を取得を容易にしようとして、次の内容により講習会を開催するので希望者は住民課係までお申し込み下さい。

- 1期日 七月三十一日(月)
- 八月十二日(土)二週間(但し日曜日は休み)
- 2場所 秋田経済大学
- 3受講資格
 - 秋田県内に居住するものを原則とし、次のいずれかに該当するもの。
 - ①学校教育法による高等学校を卒業したもの、もしくは通常課程による12年の学校教育を修了したもの(通常課程以外によりこれに相当する学校教育)
 - ②児童福祉施設において3年以上育児を修了したものを含む)又は文部大臣において、これと同等以上の資格を有すると認定されたもの。
 - ③児童福祉施設において3年以上児童の保護に従事したものの
- 4受講申込みについて
 - 役場住民課へ申し込んで下さい、7月10日から受付を開始し、先着二百名で締切致します
 - 5受講料二百円受講申込みを納入すること。(一部科目を受講しない場合でも全科目受講料は返金しない。)

第2回 (子どもの)祭典

近年、社会の著しい変動に伴い子どもたちが自然に集り自由に遊ぶ時間が少なくなりました。しかし、子どもたちは多くの仲間たちと話し合い、体を動かすことによつて、社会性も伸び、情操も豊かになると考えられます。このようなことから、全町の小、中学校、児童、生徒が一堂にたついで交流を図り、仲間つくりと併せて非行事故防止に役立てることを目的に次の内容より第二回子どもの祭典を開催いたします。

四時～五時 模範競走(小、中、高、一般のリレー等)
五時～六時 アトラクション
五・一中学校ブラス演奏
秋田県警察音楽隊演奏
六時～七時 夕食

七時～九時 キャンプファイヤ
打上花火
参加者携行品
夕食、ズボン、長袖シャツ
キャンプファイヤー用トーチ

場合がかならず父兄と一緒に行くようにすすめてほしい。
また真鍮輪等用水路の水が多く流れの早いところは、危険の標示と繩を張るなどして、子どもが近づかないようにしてほしい。

活が出来よう住民全体の力添えをお願いいたします。
なお、五城目地区の少年保護育成運営委員は次の通りです。

青少年の健全育成のため 少年保護育成委員を活用

五城目地区少年保護育成運営委員会では、小、中、高校の夏期休業の前に、次のことによつて皆様の関心と協力をお願いするとともに、青少年非行の早期発見早期対策のため、育成委員に「通報」等によるご協力も、その活用をお願いするものです。

はじめ、青少年等のたまり場等に広く住民の注意と関心をもつようにしてはいるものです。
なお青少年の不審な動きがあったら、近くの育成委員に通報くださいるようお願いいたします。

最近幼児の路上における子ども用自転車、三輪車、自動車遊び等が多く見られますので、父兄の注意は勿論のこと周囲と通りがかりの方も、注意の声をかけてやってほしい。

これから「火花」遊びや七夕の「灯笼づくり」の前夜、女性の薄着と夜道の一人歩き、家の戸締りの状態や、児童、生徒、学生等の夏季休業等によつて、いろいろな事故の多く発生する時期ですので自分の子どもだけでなく地域全体の青少年や住民を守り、明るい生

「事故防止全般について」
これから「火花」遊びや七夕の「灯笼づくり」の前夜、女性の薄着と夜道の一人歩き、家の戸締りの状態や、児童、生徒、学生等の夏季休業等によつて、いろいろな事故の多く発生する時期ですので自分の子どもだけでなく地域全体の青少年や住民を守り、明るい生

- 会長 安東 誠 川原町
- 副会長 分銅 良一 紀久米町
- 環境調査部長 宮川庄太郎 帝釈寺
- 伊藤 義男 築地町
- 三浦 三郎 田町
- 伊藤 富司 古川町
- 佐藤 善太郎 西野
- 吉岡 良一 築地町
- 千葉 茂 下山内
- 千田安太郎 西野
- 阿部 孝順 湯崎ノ又
- 福岡 昭雄 高崎
- 福岡 修 築地町
- 草野 茂樹 帝釈寺
- 和田 喜史 米沢町
- 渡辺 誠一 新畑町
- 小野 ミヨ 小野
- 斎藤 子 館越
- 高沢 キヤ 今町

- 町関係 地崩れ 金ヶ沢線二カ所
- 道路欠陥 北口線
- 道路欠陥 黒土小倉線 一カ所
- 河川
 - 県関係 馬場目川護岸、久保、帝釈寺、町村、荒沢、杉沢、門前
 - 富津内川護岸、八田、脇村
 - 内川川護岸、浅見内、大手

- 町関係 高千川、小倉川、内川川
- 橋梁
 - 町関係 山下内、富田橋、流失
 - 久保橋(一部流失)
- 地スベリ
 - 県関係 小野台、平ノ下間
 - 町関係 岩城町
- 町道 高千二沢火災
- 農地の被害状況(田畑冠水)
 - 五城目地区 四四、〇ha
 - 馬場目地区 一八、〇ha
 - 富津内地区 八三、〇ha
 - 内川地区 二六、〇ha
 - 大川地区 七九、五ha
 - 面溝地区 一五、〇ha
 - 計 三五五ha

五城目地区少年保護育成運営委員会では、小、中、高校の夏期休業の前に、次のことによつて皆様の関心と協力をお願いするとともに、青少年非行の早期発見早期対策のため、育成委員に「通報」等によるご協力も、その活用をお願いするものです。

はじめ、青少年等のたまり場等に広く住民の注意と関心をもつようにしてはいるものです。
なお青少年の不審な動きがあったら、近くの育成委員に通報くださいるようお願いいたします。

最近幼児の路上における子ども用自転車、三輪車、自動車遊び等が多く見られますので、父兄の注意は勿論のこと周囲と通りがかりの方も、注意の声をかけてやってほしい。

これから「火花」遊びや七夕の「灯笼づくり」の前夜、女性の薄着と夜道の一人歩き、家の戸締りの状態や、児童、生徒、学生等の夏季休業等によつて、いろいろな事故の多く発生する時期ですので自分の子どもだけでなく地域全体の青少年や住民を守り、明るい生

- 会長 安東 誠 川原町
- 副会長 分銅 良一 紀久米町
- 環境調査部長 宮川庄太郎 帝釈寺
- 伊藤 義男 築地町
- 三浦 三郎 田町
- 伊藤 富司 古川町
- 佐藤 善太郎 西野
- 吉岡 良一 築地町
- 千葉 茂 下山内
- 千田安太郎 西野
- 阿部 孝順 湯崎ノ又
- 福岡 昭雄 高崎
- 福岡 修 築地町
- 草野 茂樹 帝釈寺
- 和田 喜史 米沢町
- 渡辺 誠一 新畑町
- 小野 ミヨ 小野
- 斎藤 子 館越
- 高沢 キヤ 今町

暮しの案内

不用衣類預託(寄附)のおねがい

本紙上で先月からお願ひしている不用衣類の預託(寄附)について再度おねがひ申し上げます。

流行がすぎたとす法が合わぬとか着る人がいなくなったとか等のことで死蔵されている衣類があるたの家にないでしょうか。

か、もしありましたら町内の恵まれない人達に善意銀行をおして活用のため、左記により預託していただくようお願い致します。

一、預託強調期間

七月二〇日～七月三〇日

二、種類(今回は洋服類のみ)

イ夏物冬物どちらでも結構です

ロ男女の区別、大人用、小人用の区別ありません。

ハ洗滌のきいた物で、ひどくいたんだ物でなければ結構です

三、預託連絡先

預託連絡先は次のとおりです。

なお大量の場合は事務所から直接いただきます。また(町社事務局内) 電話二七六八番

①善意銀行五城目支店

②五城目町役場大川出張所

③善意銀行運営委員

④五城目地区

北島 一、安東 晃子

馬場 昌、斎藤 明、小玉 久治郎

八宮 洋内、田中 与四郎

二内 川、松橋 正之助

五城目町文庫(公民館)に次の

あなたの本棚

※始めての事業ですので不行届きの点も多いと思われまが、恵まれない方のために温かいご協力を願ひ申し上げます。

善意銀行五城目支店

五城目町社会福祉協議会

ホ大川 加藤 正松
四、展示並に支給日
八月一日～二日の予定
毎日午前九時～午後四時迄
但し数量や受給者の関係等で一日で終ることもあります。

五、受給者と受給券について

イ生活に不自由のない人は該当しません。

ロ受給券は民生委員(地区長)を通して後日お届け致します

新しい図書が入りましたので気に入るにご利用ください。

- ▽和服の着つけ (佐々木愛子)
- ▽組織よ人をこう見てほしい (大友立也)
- ▽親と子のあいだ (笠原武俊)
- ▽でっかく生きよう (加藤日出男)
- ▽きもの冠婚葬祭 (婦人西報社)
- ▽流れのさなかで (立原正秋)
- ▽私は知りたかった (窪田正浩)
- ▽愛なきに生きられるか (堀秀彦)
- ▽夫婦り来よ (石田あき子)
- ▽白 蛾 怪 (横澤正史)
- ▽村に残ったほくらの抱負 (佐藤藤三郎)
- ▽核家族時代 (松原昭郎)
- ▽ぼくらの性の悩み (大田昭男)
- ▽プレラートの醫 (渡辺淳一)
- ▽さそりたち (倉橋由美子)
- ▽馬賊の唄 (栗 森)
- ▽踊の殺意 (佐野 洋)
- ▽波の墓標 (島田 一男)
- ▽奥の細道殺人事件 (斎藤 栄)

ごみ収集日

8月のごみ収集日はつぎのとおりです。

町名	8月			
	1回	2回	3回	4回
希望ヶ丘	2	8	20	28
田代	2	8	20	28
広野	2	8	20	28
瓜ヶ野	2	8	20	28
御蔵	2	8	20	28
長仲	1	9	23	31
仲長	1	9	23	31
米沢	1	9	23	31
築地	3	10	22	30
築地	3	10	22	30
新築	4	11	24	31
畑崎	4	11	24	31
辰崎	4	11	24	31
昭崎	4	11	24	31
雀崎	4	11	24	31
古川	5	13	25	31
久原	5	13	25	31
川原	7	12	27	31
新小	7	12	27	31
池田	7	12	27	31
番田	7	12	27	31
中川	7	12	27	31
館原	7	12	27	31
岩内	7	12	27	31
城川	8	28	29	30
内馬	8	28	29	30
馬場	11	26	27	28
面川	11	26	27	28
大川	11	26	27	28

8月 残飯収集予定

希望ヶ丘	1・4・8・11
田代	21・24・29
長築	2・5・9・12
築地	22・25・30
新築	3・7・10・13
畑崎	23・26・31

郷土に思う



平ノ下 金野 嘉博

近頃、交通の発達によって、人間の活動が広域にわたるようになり、コミュニティの連帯が弱まりだし、人々の郷土に対する愛着心が薄れてきているようです。このような現象は都市に限らず農村地域でもみられるようになりました。

私たちの町、五城目町も秋田市への経済的依存度が強まり、昼を秋田市内、夜をこの町で過ごすといういわゆるベタタウンの色彩が濃くなり、生まれ育ったこの郷土を愛し、この郷土を住みよくしようとする人は少なくなっているようです。

しかし、大きな郷土への愛着心は、その行政、文化、社会をよくし町の発展にかかすことのできなないものであることは言うまでもないことです。

地球表面の一つ一つの点をとって見ても、気候、地形、土質等がまったく同一な土地はありません。そういう点からいって、わが五城目町も、世界地図上では一つの特長にすぎません。が、独特の地形、気候、土質等の自然条件を所有する世界唯一の土地であり、そこに生きる私

たち町民もまた固有の存在なので、

そこで私たち町民は、町のもつあらゆる自然条件をどう活かして新しい郷土を作るべきか真剣に考えなければなりません。たとえば、本町は男鹿半島ほどの広大な面積を所有しますが、山林、原野が大部分を占め、それを押し分けるように入り込んだ田畑があるだけで、安定した経済的基盤がないので、どうしても今後又は保全してゆくかが問題となつてゆくでしょう。馬場目川についても、その清水をどう利用してゆくかは注目すべき点でしょう。

このように五城目町内にある世界唯一の自然条件をどのように組み立て、一つの家つまり自治をつくるか、私たちは改めて考え、町当局と一体になつて住みよいくつくりをすることをお願いのであります。

行政側は住民の声をかたむけ、それを行政のルートに乗せていくという姿勢、一方、住民はその実施に協力していくという両者の協力は住みよいくつくりの基礎となるもので、これがなっていないことは町の発展はありえません。

また、このような町づくりに根底には、郷土への愛着心が必要であることは私たちは悟らなければならぬでしょう。